

中小企業診断士の視点 @にいがた

第65回 中小事業者のDXの始め方



中小企業診断士 本間 大輔
(一社)新潟県中小企業診断士協会

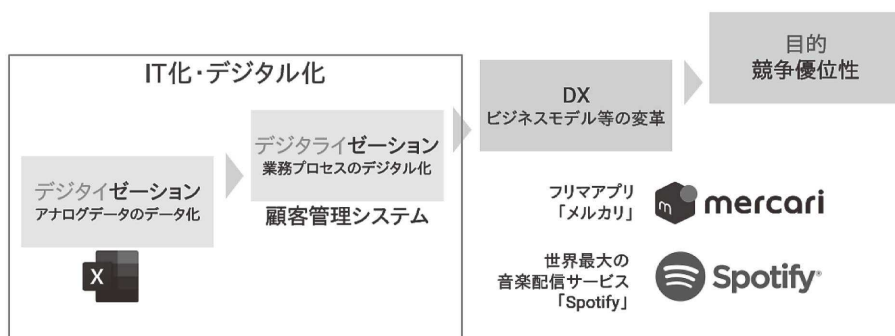
「うちの会社もDXしないとな…」

DX、まだまだよく耳にします。では質問です。そもそもDXとはなんでしょう？
もしかしたら明確に「コレ」という回答ができる方、あまりいないのではないのでしょうか。

それでは「DX」と、「IT」や「デジタル化」との違いは何でしょう？
ここまでくると、全部同じのように思えてきますよね。

これをまとめてみました。

DXを実現するためには、3つのステップがあるといわれています。①デジタイゼーション、②デジタルライゼーション、そして③DX。



①デジタイゼーションは、アナログデータのデータ化です。手書きの情報をエクセルなどでデータ化することがあげられます。

②次にデジタルライゼーション。これは業務プロセスのデジタル化です。例えば、顧客管理システムや経理システムなど、プロセスごとのデジタル化があげられます。

(この①②がIT化やデジタル化と呼ばれていると推測します)

③そしてDX。①②の技術を用いて、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのもののや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。(出典：経済産業省)

うーむ、何だか難しそうなことが書いてありますね。例えるなら、フリマアプリの「メルカリ」や、音楽配信サービスの「Spotify」などがあげられるでしょうか。

ここで素朴な疑問が湧いてくるわけです。果たしてうちの会社でここまで踏み込めるだろうか…？

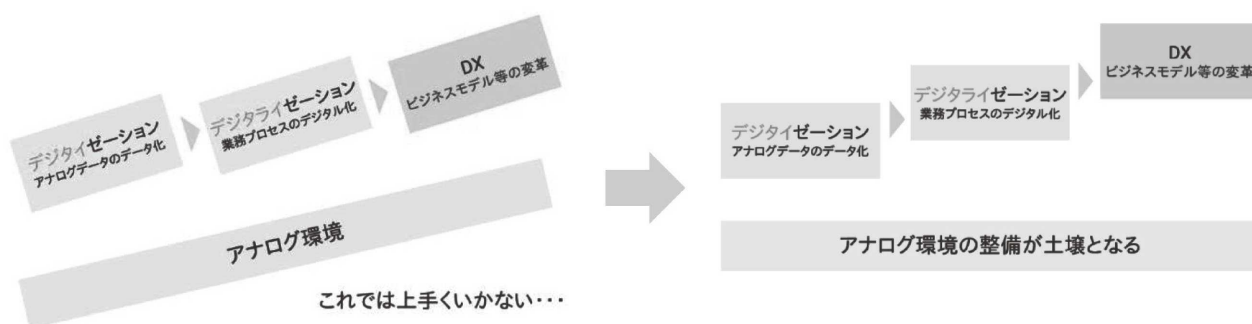
率直にいうと、地方の中小事業者にとっては定義通りのD Xを推進することは難しいと私は考えます。それは、ヒト・モノ・カネなどの資源に乏しかったり、そもそもI T化・デジタル化が進んでなかったりすることが多いからです。

ですので、まずやるべきことはI T化やデジタル化の推進、つまりは「I T活用による地道な改善」になると思います。

では、それを進めるために大事なことは何でしょう。経営者の本気度やI Tリテラシーなど、色々あると思いますが、私は「アナログ環境の整備」が最も重要であると考えます。机の周りの整理や文書や備品の整頓などです。

えっ、アナログがデジタルに関係あるの…？ いい質問です。

例えば、皆さんが仕事で使っているパソコンを見てみましょう。その請求書、フォーマットやファイル名は社内で統一されていますか？その顧客データ、保存するフォルダは決まっていますか？まさか、デスクトップに色々保存してたりしませんよね？



I Tツールは我々の作業効率を大きく向上させることができます。ただし、それはあくまで「正しく運用すること」が前提となります。

そのために、まずアナログ環境を整備してその土壌を作る。それこそがD Xの第一歩になると考えます。できることから一緒に進めていきましょう！

【問い合わせ先】

新潟県中小企業診断士協会

ホームページ：https://www.n-smeca.jp/

電話：025-378-4021

Eメール：office@n-smeca.jp